

R7 点検評価表 (R6 事業分)

主要施策		7	市民文化の創造		
施策の内容		2	文化財の保護・継承・活用		
事業名 (予算/決算)		[55] 郷土の歴史文化を守る事業 (生涯学習課：文化推進係) (予算：27,105千円 / 決算：25,471千円)			
事業の概要	事業の目的	市内に残る多様な文化財を郷土の「たから」として後世に伝え、適切な活用が図れるように、文化財の保護管理に努めることを目的とします。			
	事業の内容	文化財保護審議会の運営、指定文化財等の維持管理、埋蔵文化財の事前審査、その他さまざまな文化財の調査・研究などを行います。			
令和6年度 取組と成果	目標値 (主要な指標)	文化財保護審議会の開催：2回 保存・活用のための調査研究件数：2件 文化財まちづくり推進団体数：1団体			
	実績値 (目標値との比較)	文化財保護審議会の開催：2回 保存・活用のための調査研究件数：1件 文化財まちづくり推進団体数：1団体			
	重点課題	市ホームページにおける指定文化財および埋蔵文化財ページのリニューアルを行う必要があります。			
	課題への 取組と成果	重点課題とした市ホームページのリニューアルについては、事前準備までは行うことができましたが、実現までには至りませんでした。 害獣による被害で近年の課題となっていた福岡県指定史跡「沖出古墳」の葺石補修工事及び緊急の対策が必要とされた嘉麻市指定有形文化財「桑野の梯橋」の応急保全措置については、当初の計画通り実施することができました。また、「桑野の梯橋」の応急保全措置にあたっては、クラウドファンディングを実施し、全国の方々から多くの支援を得ることができました。			
次年度 重点課題		市の組織体制が縮小する中で、地域住民をはじめ、多様な関係団体との連携を構築し、文化財及び地域資料の保存に努める必要があります。			
令和6年度 自己評価	【評価の指標】		A	B	C
	実績値評価 (当該年度の目標値に対する達成度・進捗度)			○	
	課題への取組と成果 (当該年度の取組における成果・効果)			○	
	※評価の指標 A：期待以上 (高い) B：概ね期待どおり (基準) C：課題あり (低い)				
	評価の根拠	「実績値評価」については、上記以外の目標値として挙げていた民俗芸能保存団体へのボランティア派遣事業 (福岡県主催事業) へのサポートは十分な対応ができていませんでしたが、他の目標値については、概ね達成することができましたので、B評価としました。 「課題への取組と成果」については、重点課題は当初の目標まで至らなかったものの、各指定文化財の補修・保全工事を含めた維持管理は当初の計画通りに実施できたこと、また、クラウドファンディングを通じて、市民と行政が連携して文化財の保存に取り組めたことは大きな成果となりましたので、全体としてB評価としました。			
教育委員会評価		今回	B	(前回)	(B)

※評価の指標 A：期待以上 (高い) B：概ね期待どおり (基準) C：課題あり (低い)

主要施策		7	市民文化の創造		
施策の内容		2	文化財の保護・継承・活用		
事業名 (予算/決算)		[56] 郷土の歴史文化を伝える事業 (生涯学習課: 文化推進係) (予算: 3,436千円 / 決算: 3,233千円)			
事業の概要	事業の目的	市内に残る多様な文化財の活用を図り、郷土への誇りと愛着を培うと共に、郷土の歴史・文化のPRに努めることを目的とします。			
	事業の内容	指定文化財の公開・活用、講座、企画展等の教育普及事業を行います。			
令和6年度 取組と成果	目標値 (主要な指標)	沖出古墳特別公開事業参加者数: 300人 学習支援・視察研修等への対応件数: 18件 学習教材作成件数: 2件			
	実績値 (目標値との比較)	沖出古墳特別公開事業参加者数: 374人 学習支援・視察研修等への対応件数: 40件 学習教材作成件数: 2件			
	重点課題	令和5年3月に県指定史跡となった大隈城跡(益富城跡)の周知及び活用を図る必要があります。			
	課題への取組と成果	市内の史跡の中で問い合わせが多い大隈城跡(益富城跡)のリーフレットを新規に作成しました。作成にあたっては、市文化財保護審議会の意見も踏まえて、周辺の関連文化財等を紹介するなど観光を目的とした周遊にも配慮した内容としました。また、児童・生徒向けの学習教材としてYouTube動画「益富城の謎を解き明かせ」を制作しました。			
次年度重点課題		市の組織体制が縮小する中で、地域の公民館活動をはじめ、多様な関係団体との連携を構築し、文化財の活用に努める必要があります。			
令和6年度 自己評価	【評価の指標】		A	B	C
	実績値評価 (当該年度の目標値に対する達成度・進捗度)		○		
	課題への取組と成果 (当該年度の取組における成果・効果)			○	
	※評価の指標 A: 期待以上 (高い) B: 概ね期待どおり (基準) C: 課題あり (低い)				
	評価の根拠	「実績値評価」については、沖出古墳特別公開事業や学習支援事業が目標値を大きく上回り過去最高となったほか、学習教材として文化財ボランティアの協力のもとYouTube動画を2本制作しましたので、A評価としました。 「課題への取組と成果」については、大隈城跡(益富城跡)の周知・活用を目的としたリーフレット作成と動画の制作を当初の計画通り実施できましたので、B評価としました。			
教育委員会評価		今回	A	(前回)	(A)

主要施策	7	市民文化の創造			
施策の内容	2	文化財の保護・継承・活用			
事業名 (予算/決算)	[5 7] 郷土の歴史文化拠点施設活用事業 (生涯学習課：文化推進係) (予算：8, 089千円 / 決算：6, 958千円)				
事業の概要	事業の目的	効率的な施設運営を図りながら、学校教育及び社会教育に資すると共に郷土の歴史・文化のPRに貢献することを目的とします。			
	事業の内容	歴史民俗資料展示・保管施設（4館1室）の維持管理に努めると共に収蔵資料の台帳整備を行い、資料の活用を進めます。			
令和6年度 取組と成果	目標値 (主要な指標)	常設展示替え・ミニ企画展実施件数：3件 碓井郷土館・碓井平和祈念館研修受入数：12件 碓井郷土館・碓井平和祈念館の利用学校数：8校			
	実績値 (目標値との比較)	常設展示替え・ミニ企画展実施件数：3件 碓井郷土館・碓井平和祈念館研修受入数：25件 碓井郷土館・碓井平和祈念館の利用学校数：3校			
	重点課題	これまで調査整理を行ってきた収蔵資料の中で、古文書類の活用を図る必要があります。			
	課題への取組と成果	教育委員会で収蔵している古文書類の活用を図るため、令和6年度から新たに古文書講座を開設しました。多くの方に古文書の魅力や地域の歴史を知ってもらうこと、また学びの成果を古文書整理などのボランティア育成に繋げていくことを目的に募集を行ったところ、市内外から多くの応募があったため、急遽、午前と午後の2回に分けて講座を実施することになりました。			
	次年度重点課題	本年は戦後80年の節目の年にあたり、碓井平和祈念館のさらなる活用と利用学校数の増加を図る必要があります。			
令和6年度 自己評価	【評価の指標】		A	B	C
	実績値評価（当該年度の目標値に対する達成度・進捗度）			○	
	課題への取組と成果（当該年度の取組における成果・効果）		○		
	※評価の指標 A：期待以上（高い） B：概ね期待どおり（基準） C：課題あり（低い）				
	評価の根拠	「実績値評価」については、碓井郷土館・碓井平和祈念館研修受入数が大幅に増加した反面、市内の利用学校数は3校にとどまり目標値に到達しませんでしたので、全体としてB評価としました。研修申込数の大幅な増加は、碓井平和祈念館の人権資料展示のリニューアルと広報が上手くいったことで、利用団体が増加したものと分析しています。 「課題への取組と成果」については、古文書受講者数が予想を大きく上回り、講座回数を大幅に増やして対応できたことで、将来のボランティア育成にも繋げていける期待が膨らんだため、A評価としました。			
教育委員会評価		今回	B	(前回)	(B)

様式第 4 号（第 4 条関係）

文化財管理責任者解任届

令和 7 年 1 0 月 8 日

嘉麻市教育委員会 様

所有者 住所

氏名

下記のとおり、管理責任者を解任しましたのでお届けします。

記

- 1 文化財の名称及び員数
松岡氏庭園 1 園
- 2 指定書の記号番号及び指定年月日
嘉麻第 3 号（20 号） 令和 5 年 5 月 2 日
- 3 文化財の所在地
嘉麻市上山田 1544-1 及び 1525-4
- 4 管理責任者の氏名（名称）及び住所

- 5 解任の年月日
令和 7 年 9 月 3 0 日
- 6 解任の理由
上記文化財の管理責任者を新たに選任するため
- 7 その他参考となる事項

様式第4号（第4条関係）

文化財管理責任者選任届

令和7年10月8日

嘉麻市教育委員会 様

所有者 住所

氏名

下記のとおり、管理責任者を選任しましたのでお届けします。

記

1 文化財の名称及び員数

松岡氏庭園 1園

2 指定書の記号番号及び指定年月日

嘉麻第3号（20号） 令和5年5月2日

3 文化財の所在地

嘉麻市上山田 1544-1 及び 1525-4

4 管理責任者の氏名（名称）及び住所

5 選任の年月日

令和7年10月1日

6 選任の理由

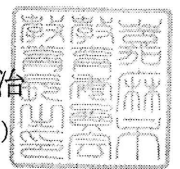
所有者が、上記文化財の所在地に居住しておらず、直接管理することが困難であるため

7 その他参考となる事項

7 嘉生涯第 8 8 7 号
令和 7 年 1 0 月 2 4 日

嘉麻市文化財保護審議会
会長 嶋 田 光 一 殿

嘉麻市教育委員会
教育長 伊 東 新 治
(生涯学習課文化財係)



嘉麻市文化財まちづくり推進団体の認定について（諮問）

このことについて、嘉麻市文化財まちづくり推進団体認定規程第 4 条第 1 項の規定に基づき、下記の団体を嘉麻市文化財まちづくり推進団体として認定してよろしいか、意見を求めます。

記

美しこの郷みやの

様式第 1 号（第 3 条関係）

令和 7 年 1 0 月 2 2 日

嘉麻市教育委員会 様

団 体 名 美しこの郷みやの

代表者氏名

電 話

嘉麻市文化財まちづくり推進団体認定申請書

嘉麻市文化財まちづくり推進団体の認定を受けたいので、嘉麻市文化財まちづくり推進団体認定規程第 3 条の規定に基づき、下記のとおり、関係書類を添えて申請します。

記

団体名	ふりがな うましこのさとみやの 美しこの郷みやの	会員数	1 6 名
住所（所在地）	〒820-0312 嘉麻市宮吉 5 3 8 - 1		
代表者氏名		電話	
代表者住所			
連絡責任者氏名		電話	
メールアドレス			
団体の目的	宮野地区内に残る文化的遺産等の保存・継承等を行うことにより地域の活性化を図る。		
備 考			

※添付書類

- ①規約又は会則等
- ②会員名簿
- ③嘉麻市文化財管理活用計画書（様式第 2 号）
- ④その他教育委員会が必要と認める書類（文化財所有者等の承諾書等）

「美しこの郷みやの」会則

(目的)

第1条

この会は、遠賀川の源流に育まれた「宮野」地区の先人達が生活の中から生み出された多くの独自の文化遺産や名勝等が存在するが、しかしながら近年の自然環境の変化また生活様式の変化や地域の高齢化が進む中、それらの文化的遺産の保存や継承が極めて厳しい状況でもある。

そこで改めて、「宮野」地区に残る文化的遺産等の価値を学びながら、地域全体でその保存・継承活動等に取り組むことを目的とする。

(名称)

第2条

この会は、「美しこの郷みやの」と称する。

(所在地)

第3条

この会の事務所を嘉穂地区公民館宮野分館「福岡県嘉麻市宮吉 538-1」内に置く。

(設立年月日)

第4条

この会の設立年月日は「令和7年10月21日」とする。

(組織)

第5条

本会は、会の目的に賛同する者をもって組織する。

(活動)

第6条

本会は、第1条の目的を達成するために、次の活動を行う。

- 1 宮野地区内の文化遺産等の維持・環境整備に関すること。
- 2 宮野地区内の文化遺産等の保存・活用に関すること。
- 3 会員相互の親睦に関すること。
- 4 その他、本会の目的達成に必要な活動に関すること。

(役員の数)

第7条

本会に、次の役員を置く。

○代 表	1名	○副代表	1名	○会 計	1名
○会員代表	2名	○監 査	2名		

但し、会員代表及び監査の各2名は各地区会員の輪番制とする。

(役員の任期)

第8条

役員の任期は2年とする。但し再任は妨げない。

2 補欠により就任した役員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 役員は、任期満了後も後任者が就任するまではその職務を行うものとする。

(役員の職務)

第9条

代表は、この会を代表して会務を統括すると共に、本会の通帳を管理する。

副代表は、代表を補佐し、代表が事故あるときその職務を代行する。

会計は、この会の経理行う。

会員代表及び監査は、会の運営に参画し、役員会で決定された事項の執行にあたる。

(役員の選任)

第10条

代表・副代表・会計・会員代表及び監査は会員の中から役員会で選任する。

(会議)

第11条

この会の会議は、役員会とする。

役員会は、代表、副代表、会計、会員代表及び監査をもって構成し、活動計画・予算・決算・会則の改廃及び役員会において特に必要な事項について、審議決定する。

(活動方法)

第12条

役員は、会員の意見を尊重するとともに、活動の企画・実施については、特に関係する地域の関係者等の協力を求めて円滑な活動を行うものとする。

(活動経費)

第13条

この会の運営経費は、会費、補助金、助成金、寄付金及びその他の収入をもってこれに充てる。

また、会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日とする。

(委任事項)

第14条

この会に定めるもののほか、必要な事項は、代表が別に定める。

附 則

本会則は、令和7年10月21日より施行する。

「美しこの郷みやの」 会員名簿

番号	氏 名	住 所	連 絡 先	役 職
1		嘉麻市桑野		会員代表
2		嘉麻市桑野		
3		嘉麻市桑野		
4		嘉麻市桑野		
5		嘉麻市小野		代 表
6		嘉麻市小野		会員代表
7		嘉麻市小野		
8		嘉麻市小野		
9		嘉麻市宮吉		副代表
10		嘉麻市宮吉		監 査
11		嘉麻市宮吉		
12		嘉麻市宮吉		
13		嘉麻市上		会 計
14		嘉麻市上		
15		嘉麻市上		監 査
16		嘉麻市上		

様式第2号（第3条・第8条関係）

嘉麻市文化財管理活用計画書

年 度	令和7年度	計画区分	新規・継続・変更
指定等の 種別	国・県・市 国登録	文化財の名称	木造薬師如来坐像及び十二神将 像並びに木造如来形立像
文化財の所在地	嘉麻市宮吉 116 番地（薬師寺）		
文化財所有者／電話	宮吉区		
文化財所有者の住所	嘉麻市宮吉		
文化財管理者／電話			
文化財管理者の住所			
活動内容（具体的に）	（月日等） 11月下旬	現地の状況把握	
	12月上旬	清掃作業（草刈り等）	
	2月中旬	表示板設置	
期待できる効果	年に数回見学に来られますが、案内板もなく、急な坂道と雑草が繁茂しており近づきにくい環境です。薬師堂周辺の環境整備活動を行うことにより対象物の保全・保護活動に効果が期待できます。		
備 考	管理活用の範囲は、市指定有形文化財が安置されている薬師堂及びその周辺地を含む。		

※文化財の所有者と管理者が同一の場合は、所有者の欄のみ記載

様式第2号（第3条・第8条関係）

嘉麻市文化財管理活用計画書

年 度	令和7年度	計画区分	新規・継続・ 変更
指定等の 種別	国 ・ 県 ・市 国登録	文化財の名称	小野谷の石造警鐘台 附建設記念碑
文化財の所在地	嘉麻市小野谷769番地4		
文化財所有者／電話	小野谷自治会		
文化財所有者の住所	嘉麻市小野谷 XXXXXXXXXX		
文化財管理者／電話			
文化財管理者の住所			
活動内容（具体的に）	（月日等） 11月下旬	現地の状況把握	
	12月上旬	清掃作業（草刈り等）	
	2月中旬	表示板設置	
期待できる効果	石造警鐘台は全国的にも珍しい建造物であり脚光を浴びており、年間を通してかなり見学に来られています。 定期的に警鐘台の周囲の環境整備を行うことにより更なる来訪者が期待できます。		
備 考			

※文化財の所有者と管理者が同一の場合は、所有者の欄のみ記載

様式第2号（第3条・第8条関係）

嘉麻市文化財管理活用計画書

年 度	令和7年度	計画区分	新規・ 継続 ・ 変更
指定等の 種別	国・県・市 国登録	文化財の名称	桑野の梯橋
文化財の所在地	嘉麻市桑野871-4地先		
文化財所有者／電話			
文化財所有者の住所			
文化財管理者／電話	嘉麻市	0948-62-5720	
文化財管理者の住所	嘉麻市上臼井1180番地1		
活動内容（具体的に）	（月日等） 11月下旬	現地の状況把握	
	12月上旬	清掃作業（草刈り等）	
期待できる効果	一般公開はされていませんが、石橋への取り付け道路への清掃等を定期的に行うことにより、一般公開されても対応できるよう整備を行います。		
備 考	管理活用の範囲は、市指定有形文化財が所在する周辺地を含む。		

※文化財の所有者と管理者が同一の場合は、所有者の欄のみ記載